



## 足利織姫神社 「恋人の聖地」に認定

縁結びの神社として知られる足利市西宮町の足利織姫神社が、県内3カ所目の「恋人の聖地」に選ばれた。市中心部の織姫山と呼ばれる小高い山の中腹になり、多くのカップルが訪れる夜景の名所となっている。

恋人の聖地は、地域の新たな魅力づくりを目指し、NPO法人地域活性化支援センター（事務局・静岡市）が認定。1日付で認定された足利織姫神社を含めて全国に127カ所ある。県内では那須高原展望台（那須町）、もみじ谷大吊橋（那須塩原市）も選ばれている。

足利市観光協会が、市内の観光資源を「出逢い」や「ご縁」でつなぎ合わせて情報発信力を高めようと、その核として同神社を申請した。

神社は江戸時代の創建で、機織りをつかさどる神様をまつっている。織物業の盛んだったこの地域では、業界繁栄のシンボルとして「はたがみさま」と呼ばれていた。移設や火事による焼失を経て1937（昭和12）年、現在地に再建された。当時としては珍しいコンクリート造りで、地元の織物業者らが多額の費用を出し合ったとされる。社殿や社務所などは、国の登録有形文化財になっている。